

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『疾患特異的 iPS 細胞を活用した筋疾患モデルによる病態研究と治療法開発 (第3期)』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2008年09月19日より2023年3月31日までの間に、「筋ジストロフィー患者線維芽細胞からの人工多能性幹細胞(iPS細胞)の樹立と筋ジストロフィーモデルマウスを用いた移植治療の有効性と安全性の検討」、または、「疾患特異的 iPS 細胞を活用した疾患の病因・病態および治療法開発に関する研究」に参加いただいた方。

【研究期間】

2023年3月23日より2028年3月31日まで

【研究責任者】 神経研究所 疾病研究第五部 荒木 敏之

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

本研究は、これまで当センターにおいて、筋疾患患者さんから頂いた細胞検体(診断用生検検体の残余の一部の利用、または、採血によって得られたもの)から作成した人工多能性幹細胞(iPS細胞)を引き続き管理・活用して、どのようにして病気が起こるのかに関する研究を行うとともに、病気の症状を示す培養細胞を活用して治療薬の開発を行うことを目的としています。

特に、一部の筋強直性ジストロフィー患者さんから頂いた検体から作成した iPS 細胞と遺伝子配列の情報については、病態進行のメカニズムについての共同研究のために、フランス クレルモン・オーヴェルニュ大学医学部 遺伝学・生殖・発達研究所(クリストフ ヤグラ所長)に提供することがあります。提供する場合、提供先での細胞・情報の利用は共同研究期間のみとします。

【利用する試料・情報等】

試料:iPS細胞

情報等:診療録に由来する情報(年齢、性別、診断名、遺伝子診断結果)

提供する試料・情報の取得の方法: 過去の研究において入手したものを引き続き管理・利用する。

【共同研究機関】

フランス クレルモン・オーヴェルニュ大学医学部 遺伝学・生殖・発達研究所

【共同研究機関以外の試料・情報を取り扱う機関】

なし

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 神経研究所疾病研究第五部 氏名 荒木 敏之

電話番号 042-341-2712 内線 5151

e-mail: taraki※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)